

口は健康のもと Vol.71

レーザー光線で歯科治療？

歯医者さんへ治療に行くと、必ず聞こえてくるのが『キーイン、キーイン』といったあの音です。おそらくこの音が心地良いと思われる人はいないでしょう。

むしろあの音が嫌だから歯医者さんに行きたくないという人も多いのではないのでしょうか。あれはタービンという高速で回転させ硬い歯のエナメル質や象牙質を削るための機械です。

最近の歯科医学の発展に伴い歯を削る機械もタービンだけではなくなりました。その一つにレーザーがあります。レーザーと聞くと思い出すのがマンガや映画に登場するレーザー光線銃ですね。まさにこのレーザー光線を使って硬い歯のエナメル質や象牙質が削れるのです。残念なことに未だ全ての歯の病気に使用できるわけではありません。

いったいどうしてレーザーで歯が削れるのでしょうか。それはレーザー光線が持つ光の性質に秘密があります。レーザー光線にはものを少しあたためるくらいの弱い力から、物を燃やしてしまうくらいの強い力を与えることができます。

この弱い力を持つレーザー光線を人に使用すると血行が良くなったり、口内炎の痛みをとったりできます。そして強い力を与えると、硬い歯も削ることができます。音も振動もなく虫歯の治療ができるわけです。レーザー光線を使った歯科治療は現実に行われているのです。



奥羽大学歯学部附属病院